



# 九天使占いと 天中殺



四つの運勢周期

ヘンリー湯川

## あなたの冬の期間

---

### 「気」の世界

私達は「気」の影響を受けています。中国の気功のように心と体をピタッと合わせて「気」を動せば、病気になりません。

では、この「気」とは何でしょうか。母の胎のように私達の生命を守り育て、願望実現を促進化させる「宇宙の根本的な力」です。

この「気」を五つに分けると、

五気になります。五気は「宇宙間の万象を象徴する」とされてきました。

十二支は気の世界の時を表します。

2011年は卯年、2012年は辰年、2013年は巳年と、今日でも十二支を使って、12年の周期を言い表わします。十二支に五気が沈み込んでいて、さらに陰と陽に分れていました。

子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥  
水、土、木、木、土、火、火、土、金、金、土、水  
陽、陰、陽、陰、陽、陰、陽、陰、陽、陰、陽、陰

十二支の五気の順番は春夏秋冬の順番になっています。

2010年は寅年と2011年は卯年でしたから、木気になり、春のような期間となります。しかし、全ての人にとって、この2年間は春のような期間ではありません。この2年間は冬のような期間になる人もいます。

十干が十二支とペアを組んで、あなたの冬の期間を知らせます。

生まれた日の十二支と十干がどの組み合わせになっているのかで、あなたの冬の期間がわかります。

十干も十二支と同様に五気が沈み込んでいて、陽と陰に分れていました。

甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、辛、壬、癸  
木、木、火、火、土、土、金、金、水、水  
陽、陰、陽、陰、陽、陰、陽、陰、陽、陰

十干と十二支の組み合わせは6回行われます。

干支の組み合わせは陽は陽と、陰は陰とペアを組み、陽と陰とが組むことはありません。それで計120組でなくて、計60組になります。

組み合わせは6回行われます。ところが、10と12ですから、 $12 - 10 = 2$ 、組み合わせが終わる度毎に二支が取り残されます。この相手がいない十二支が空亡の十二支になります。

空亡を天中殺ともいい、天中殺になっている十二支の年があなたの冬の年になります。

## 天中殺の意味

---

たとえば、あなたの生まれた日の十干と十二支の組み合わせが甲戌であれば、二回目に行われた組み合わせの中にあります。

残された十二支、空亡、天中殺になっている年は、申酉になります。

申年と酉年があなたの冬の期間になります。

### 陽陰陽陰陽陰陽陰陽陰

一回目 甲乙丙丁戊己庚辛壬癸、空亡、別名 天中殺  
子丑寅卯辰巳午未申酉、戌、亥

二回目 甲乙丙丁戊己庚辛壬癸  
戌亥子丑寅卯辰巳午未、申、酉

三回目 甲乙丙丁戊己庚辛壬癸  
申酉戌亥子丑寅卯辰巳、午、未、

四回目 甲乙丙丁戊己庚辛壬癸  
午未申酉戌亥子丑寅卯、辰、巳、

五回目 甲乙丙丁戊己庚辛壬癸  
辰巳午未申酉戌亥子丑、寅、卯、

六回目 甲乙丙丁戊己庚辛壬癸  
寅卯辰巳午未申酉戌亥、子、丑、

## 天中殺の意味

十二支は時間、十干は位置、空間を表すとされます。

高尾義政氏は、「天中殺算命占術」の中で「いままで時間と空間がかみあってきた運勢のリズムが、この天中殺のときだけ、空間がすっぱり抜けてしまうのです。」「空間のみが欠け、時間が存在している姿が天中殺なのです。」と説明されていました。

「空間のみが欠け、」とありますが、この空間は通常の空間ではありません。金子彰生氏は「数霊」の中で、過去9ヶ月間の母の胎内にいなかった期間を空亡とされていました。

母の胎のように私達の成長を保護して、願望実現を促進化させるのが「気」です。この空間とは、「気」の保護圏内ではないでしょうか。

では、天中殺の殺とは何を意味するのでしょうか。死んでなくなる、何か悪いことが起こるといった意味なのでしょうか。十二支と十干の文字の意味からこの殺の意味を調べることにします

。

子丑寅卯の十二支の文字の意味は動物のことではなく、植物が「たね」から発芽し成長して成熟していく姿を表していました。また、甲乙丙丁の十干の文字の意味も同様に「たね」から芽が出て成長して大きくなって、花を咲かせた後に枯れ始めますが、多くの「新しいたね」を残す様子を表していました。

天中殺とは殺すことではなく、枯れることなのです。しかし、枯れてなくなるのではなくて、数多くの新しい「たね」を残すようになります。

## 天中殺の意味

---

天中殺とは地面にまかれる以前の「たね」の状態

「たね」の中に何が入っていますか。「たね」の中には新しい命とともに、将来の方向性が入っています。どんな葉、茎を出して、どのような花を咲かせて、どのくらいの実を実らせるかの全ての情報が「たね」の中に内臓されています。

春になって、「たね」を土の中にまけば、芽が出て、茎が伸びて、葉が出ます。「たね」の中にそのような方向性が既に決定されていて、実際にそうなるように「たね」は周囲に影響を与えていきます。

天中殺とは、地面にまかれる以前の「たね」のような状態です。この期間に「たね」がねずみなどから食べられないように大切に保管しなければなりません。この「ねずみ」とは、何でしょうか。様々な誘惑、詐欺などです。また、春になっていないのに、その「たね」をまくことがないように気をつけます。

天中殺の期間に入ると、以前の古い「たね」で築いたものは崩れやすいです。これまでのやり方では通用しなくなるのです。それで、「天が味方しないとき」「何をやってもうまくいかない」ように見えてしまうのです。

天中殺をどのようにとらえるのがよいでしょうか。

天中殺の期間はこれまでやり残したことをやり終えると同時に、春を迎えるための準備をするときです。では、春を迎えても、まく「たね」がなかったら、どうすればよいですか。

今から、冬の期間であっても生きた「たね」をつくらなければいけません。

「たね」をつくることは、これからの方向性、未来の設計図、構想、計画、目標などをつくることです。「生きた」とは、「新しい命」が入っている状態です。「新しい命」が入っている状態とは、これから発展していこうとする意欲、こみあげてくる情熱がある状態です。

天中殺には何か悪いことが起こると思ってはいけません。それでも悪いことが起るとしたら、それは春になってまくことができる「たね」が不足しているからです。今からでも生きた「たね」をつくるように、天は様々なことが起こして、私達に教えてくれているのです。

私は天中殺の期間にロシアに旅行に行ったことがあります。そこで様々な人に出会い、素晴らしい体験をしました。天中殺はこれまでなしたことをふりかえり整理しながら、新しい方向性を模索する期間です。そのような目的にかなった旅行であれば、素晴らしい旅行になります。

しかし、新しい計画を実行する期間ではありません。たとえば、天中殺の期間に外国に旅行するのはいいのですが、その国に移住するときではないのです。新しい仕事を始めるための調査をする期間であって、会社を設立したり、今の会社をやめて新しい会社に入るときではありません。

。



天中殺の期間は2年ではなく、3年になります。

---

九星も参加させて天中殺をとらえると、天中殺の期間は3年になります。

十二支、十干、九星には同じ五気が沈みこんでいますから、根っこは同じところにあるはず  
です。そこで、十二支と十干だけで天中殺をとらえるのではなく、九星も構成要員として参加さ  
せるようにします。

九星の中に「たね」が入っていました。十二支は十干とともに春夏秋冬の時間的な円形運動を  
なしています。九星が「たね」として、十二支と十干の時間的な円形運動の中に入って、方向性  
を与えて、影響を与えていました。

しかし、時を表す十二支は12ですが、方向性を与える九星は9です。すると、 $12 - 9 = 3$   
が残ります。十二支と十干の時間的な円形運動の中で方向性を与えて、影響を与え続けることが  
できるのは9年間だけで、残りの3年間は九星は地面にまかれる前の「たね」のような状態になり  
ます。

すると、天中殺の期間は3年になります。

実は既にこの3年間は御謝山宇彦氏によって発見されていました。御謝山宇彦氏は「グラフ占  
星術」でこの3年間は冬機、次の3年間は春機として12年の春夏秋冬の運勢周期を展開されて  
いました。

あなたの冬の3年間の出し方

しかし、冬の期間を表す天中殺の十二支は三つではなく、二つです。3年にするために、冬の  
ど真ん中に天中殺の十二支のどちらかを入れて3年間にします。

ではどちらの十二支が冬のど真ん中に入るのでしょうか。生まれた年の十二支の陰陽と同じ陰陽  
の天中殺の十二支が冬のど真ん中に入ります。

正確に調べるためには、四柱推命の本が必要です。

四柱推命の本で干支の暦を見ると、年の十二支が変わる日は2月4日か2月5日になっています  
。1月1日からではないのです。

たとえば、1989年2月4日生れの方であれば、日の干支は乙未です。

四回目の組み合わせの中にあります。空亡の十二支、天中殺の年は辰年と巳年です。次に、生  
れた年の十二支を調べます。巳年です。巳は陰です。同じ陰の巳年が冬のど真ん中に入ります  
。2013年が巳年ですから、2012年、2013年、2014年が、冬の3年間になります。

では、1989年2月3日生まれの方であれば、どうなるでしょうか。

日の干支は甲午です。この方の干支の組み合わせも四回目の組み合わせの中にあります。天中  
殺の年は、辰年と巳年です。

次に、生まれた年の十二支を調べます。2月3年までは、前の年の十二支、辰が続いています。辰  
は陽です。同じ陽の辰が冬のど真ん中に入ります。2012年が辰年ですから、2011年、2  
012年、2013年が冬の3年間です。

このように天中殺の年は同じなのに、1日違うだけで、冬の3年間は1年違ってくることがあるのです。

12年の運勢周期が始まる日も、1月1日ではなくて、年の十二支が変わる、2月4日か2月5日になります。



# 九天使占いと春夏秋冬の12年の運勢周期

## 第九章、九天使占いと12年の春夏秋冬の運勢周期

あなたの12年の春夏秋冬の運勢周期を出してください。

あなたの生れた日の干支と生れた年の十二支を四柱推命の本で調べます。

生まれた日の干支は何回目の組み合わせかを探して、

天中殺の十二支を出します。

生まれた年の十二支の陰陽と同じ陰陽の天中殺の十二支だけにします。

生まれた年と同じ陰陽の天中殺の十二支を、冬の真ん中、D2に入れます。

D2に入った十二支の最近の年を出して、

あなたの12年の運勢周期を作成します。

年 月 日から	年 月 日から	年 月 日から
B1	B2	B3
準備期	開花 夏	準備期
年 月 日から A3成長		C1結実 年 月 日から
年 月 日から A2成長	春	秋 C2結実 年 月 日から
年 月 日から A1形成		C3結実 年 月 日から
	冬	
準備期	準備期	準備期
D3	D2	D1
年 月 日から	年 月 日から	年 月 日から

天中殺や12年の運船周期について、数多くの本が既に出版されています。それにもかかわらず、ここを出したのは、12年の運勢周期は「九天使占い」の三つの運勢周期につなぎ合わせられることによって、真価が発揮されるようになることがわかったからです。

12年の運勢周期の冬は、「九天使占い」の第四章、1年12ヵ月の運勢周期の冬とほぼ同じです。凶とされる冬の3年間を、準備期にしました。

12年の運勢周期の春は、「九天使占い」の1年12ヵ月の運勢周期の春とほぼ同じですが、成長期が春の中期から入るようになります。

12年の運勢周期の夏は、三つの期間に分かれます。夏の初期は花を咲かせるための準備をする期間です。夏の中期は花を咲かせる期間です。夏の後期はたくさんの実を实らすことができるよう準備する期間です。

12年の運勢周期の秋は、結実期です。1年12ヵ月の運勢周期でも秋を結実期としましたが、積極的に物事をなす期間ではありませんでした。しかし、12年の運勢周期の秋は、これまでやってきたことを結合させて、大きく結実するように積極的に活動する期間になります。

## あなたの春の3年間と秋の3年間の運勢

---

### A あなたの春の3年間の運勢

春になると、地面にたねをまきます。すると、たねの表皮を解いて植物が芽を出します。これまでの抑えられた状態から、すれあいながらも、抜け出すことができます。そして、勢いよく広がって、植物はよく繁るようになってきます。

春の3年間の「気」の成長力はすさまじいものがあります。何でも思い切ってやってみるのに最も適した期間になります。

何か新しい計画を実行する時、結婚相手を探し求める時、準備してきたことをやり始める時は、この春の3年間、できれば春の中期を選びます。春のように穏やかな運氣の中にあり、未来に向けて大きな可能性を秘めている期間です。

春の3年間に、私達の心の情からこみ上げてくる願望を否定せずに、大事に育てる九天使がやってきます。

気がリフレッシュされ、新しいことにチャレンジしたい思いがどんどんわいてきます。どんなことでも思い切ってやってみると、意外な進展があります。

心の中で願っていることを大切に育てる九天使からのメッセージです。

A 1 九天使メアリー「ていねいに、これからの新しい未来を切り開きましょう。」

A 2 九天使ロッキー「細かいことに気をつかうよりも、何でも積極的にやります。」

A 3 九天使テレサ「これから何をするかははっきりさせて、やれると信じてやってみて。」

### B あなたの夏の3年間の運勢

夏になると、植物はある程度までで成長が止まります。そして、花を咲かせる準備をするようになります。そして、無事にきれいな花を咲かせると、次は数多くの実を実らせることができるように準備するようになります。

夏の3年間は、三つの期間に分かれます。初期は花を咲かせる、あなたの才能を発揮させるための準備期間です。中期は開花させる、あなたの才能を発揮させる期間です。そして、後期は数多くの実を実るように、動かず止まってじっくり準備する期間です。

夏の初期に、春の3年間でやってきたことの問題点が出てきます。どこかに必ず出ます。仕事や家庭に問題がなければ、体の弱いところに出てきます。

次に、夏の中期になると、問題点が整理されてきます。どのようにすればやれるようになるか、やり方がわかってきます。実力を発揮できるようになる期間です。

そして、夏の後期になると、さらにやり方を発展させて、秋の期間に数多くの実を実らせることができるように準備します。本格的な活動は秋の期間まで待つようにします。

夏の3年間には、ぼんやりと考えるのではなくて、よく考えて正しい判断できる九天使がやってきます。あなたの側にやってくると、頭がさえて、問題点は何かはっきりとします。そして、今願っていることを実現させていくにはどうすればよいかわかってきます。

よく考えて判断する知的な天使達からのメッセージです。

B 1 九天使スティーブ「無理をしてないか、もっと良い方法がないかよく考えてやります。」

B 2 九天使マリリン「明るくふるまって、これまでの努力が花開くようにします。」

B 3 九天使ヨハネ「まだ本格的な活動は待って、よく考えて十分な準備をします。」

## あなたの秋と冬の3年間の運勢

---

### C 秋の3年間の運勢

植物は花を咲かせた後に枯れ始めます。しかし、その中で多くのたねをはらみ始めます。秋の期間になると植物の形は変化してきて、枯れ始めますが、数多くの新しいたねを生み出そうとするようになります。

秋の3年間に入りました。これまでやってきたことを結合させて、結実させるための本格的な活動ができる期間です。これまでやろうとしてできなかったことを、積極的にやって、すばらしい結果を出せる期間です。

しかし、何か新しいことをやり始める期間ではありません。これまでやってきたことに工夫を加えながら、続けてやって、数多くの収穫を得ることができる期間です。

秋の3年間に、強制的にではなくて、自然とやる気が出るようにさせる九天使がやってきます。あなたの側にやってくると、最後までやり抜こうとする意欲が出てきます。

自然とやる気がわいてくる行動力のある九天使からのメッセージです。

C 1 九天使スカーレット「やろうとしてやれなかったことにチャレンジできます。」

C 2 九天使ウィリアム「これまでやってきたことが数多く実るようにがんばって。」

C 3 九天使ビクター/ビクトリア「これまでやってきたことを成し終えるようにします。」

### D 冬の3年間の運勢

冬になれば、植物は枯れてなくなりますが、数多くの新しいたねを残します。そのたねをねずみなどに食べられないように守らなければいけません。冬がくれば、春は必ずやってきます。その春がくるときまで、そのたねをしっかりと保管するようにします。

冬の期間は秋の期間の延長期間であると同時に、春の期間を迎える準備をする期間です。もしこれまでにやり残したことがあれば、やり終えるようにします。これまでやってきたことをあきらめずやり続けて、この冬の3年間に入ってから、結果が出てくることもあるからです。

しかし、何か新しいことをやってはいけません。いろんなアイデアがひらめいて、どうしてもそれをやりたくなってきます。

春の3年間に入るまで、実行しないで、様子をうかがうだけに止めます。やりたい気持ちを抑えて、十分な準備します。ところが不思議なことに、冬の3年間に入ると、当然やってはいけないようなことを思い切ってやってしまいたくなるのです。

この冬の3年間、あなたを見守ってくれるのが、九天使のリーダー、九天使ビクター/ビクトリアです。他の天使達は去ってしまいますが、この光の天使だけは残ってくれます。

気持ちを静めてくれる九天使ビクター/ビクトリアからのメッセージです。

「冬の3年間はいろんな考え、思いがわいてきます。これまでやってきたことなら、やり続けて、結果を出すようにしてください。しかし、新しいことはやらず、春の3年間に入るまで待つようにします。人はこの時がわからなくて、やってはいけないことを冬の期間にやってしまいがちです。それでも思い切ってやろうとする気持ちをなんとか抑えてください。」



## 実例 1、松下幸之助さん

---

### 実例 1、松下幸之助さんの 12 年の春夏秋冬の運勢周期

松下幸之助さんの歩みは、既に第六章で、三つの運勢周期で表しました。

さらに、PHP 研究所発行と日本図書センター発行の「松下幸之助」を参考にして、松下幸之助さんの 12 年の春夏秋冬の運勢周期を説明します。

1894 年 1 月 27 日、和歌山県で生まれました。

松下さんが生れた日の干支と生れた年の十二支を四柱推命の本で調べます。

松下さんが生れた日の干支は癸酉 生れた年の十二支は午です。

生まれた日の干支は何回目の組み合わせか探し、天中殺の十二支を出します。

癸酉は一回目の組み合わせの中にあります。天中殺の十二支は、戌と亥です。

生れた十二支の陰陽と同じ陰陽の天中殺の十二支だけにします。

午は陽です。同じ陽の戌だけにします。

生まれた年と同じ陰陽の天中殺の十二支を、冬の真ん中、D2 に入れます。

冬の真ん中、D2 に戌年を入れます。

松下さんが大阪電灯に採用された 1910 年が戌年になっていました。

D2 に 1910 年を入れて、松下さんの 12 年の運勢周期を作成します。

1915 年 2 月 5 日から	1916 年 2 月 5 日から	1917 年 2 月 4 日から
B1	B2	B3
準備期	開花	準備期
	夏	
1914 年 2 月 5 日から	A3 成長	C1 結実 1918 年 2 月 5 日から
1913 年 2 月 4 日から	A2 成長 春	秋 C2 結実 1919 年 2 月 5 日から
1912 年 2 月 5 日から	A1 形成	C3 結実 1920 年 2 月 5 日から
	冬	
準備期	準備期	準備期
D3	D2	D1
1911 年 2 月 5 日から	1910 年 2 月 5 日から	1909 年 2 月 4 日から

### 12 年の春夏秋冬の運勢周期から見た松下幸之助さんの仕事の運勢

チンチン電車が動き、ランプから電灯に変わり始めました。将来は電気の時代だと、松下さんは直感します。

同じ大阪に住む姉夫婦のところに行って、自分の希望を話します。二人は理解して、入社交渉をしてくれます。1910年10月になって、大阪電燈に見習い工として入社します。

この1910年はD2、松下さんの冬の三年間のど真ん中の年です。冬の年に転職を考えやすいのですが、転職してはいけない期間です。しかし、松下さんは転職します。わずか3ヵ月後には、その当時としては異例の速さで見習い工から担当者に昇格します。

仕事においては何の問題もありませんでしたが、健康面で問題が出てきます。1915年はB1、松下さんの夏の三年間の初期に入って、病気になり、健康に不安を感じるようになります。

姉が弟の健康を心配し、お見合いをすすめます。1915年9月、井植むめのさんと結婚します。この結婚が松下さんを救うようになります。

松下さんは、冬の3年間のど真ん中の年に入社したにもかかわらず、見習い工から担当者、担当者から検査員と順調に昇進していきます。しかし、冬の期間からやり始めたことは長続きしない傾向があります。

冬の3年間から始めた仕事を、次の仕事を始めるための準備としてとらえると良くなってきます。松下さんは、大阪電燈でこのまま仕事を続けてもよいか、考えるようになります。本当にこれでよいかと考え抜いて、「よしやめよう。そしてソケットを、電気器具を製造しよう。」と決心します。

潔く決意して、1917年6月15日、主任に辞表を提出します。1917年はB3、松下さんの夏の三年間の後期です。実はこの夏の後期も凶とされている時期です。夏の後期は計画するだけに止めておいて、具体的な行動はもう一年待つ方が良いとされている期間です。

しかし、松下さんは大阪電燈を退職し、以前から考えていた改良ソケットの製造を、なかま二人を集めて進めます。しかし、売れません。なかま二人は見切りをつけて去ります。

むめのさんが呼び寄せた義弟との二人だけになります。経済的にぎりぎりの状況においつめられます。もし、ここで松下さん1人だけの運勢であれば、全てが終わっていたはずですが。しかし、この凶とされている1917年を、むめのさんと義弟が松下さんを支えてくれます。

1917年12月になって、A電気商会より扇風機の部品の注文がやってきます。相手が期待する部品を作り上げます。すばらしい評価を受け、さらに注文がきます。利益を得ます。

幸いなことに、凶とされている1917年はこれまでやりたいと思ってきたことを本格的に実行できるようにするための準備期間になります。

そして、1918年3月、松下電気の製品を作って売れるようにするために、これまでの家の三倍もある家に移転します。

1918年3月はC1、松下さんの秋の三年間の初期です。これまでやってきたことを結合させて、結実させるための本格的な活動を開始できる期間です。

その家で作った松下電器の最初の製品、改良アタッチメントプラグは非常に評判が良く、売れて成功します。1918年3月から松下電器として活動を始めて、大発展するようになります。



## 実例 2、美空ひばりさん

### 実例 6、美空ひばりさんの 12 年の春夏秋冬の運勢周期

美空ひばりさんの歩みは、既に第六章で三つの運勢周期で表しました。

さらに、草思社発行の「ひばり自伝」と光文社発行の「美空ひばり」を参考にして、美空ひばりさんの結婚について、12年の春夏秋冬の運勢周期に従って説明します。

1937年5月29日に横浜市磯子区で生まれました。

美空ひばりさんが生れた日の干支と生れた年の十二支を四柱推命の本で調べてください。生れた日の干支は丙辰 生れた年の十二支は丑になっていました。

生まれた日の干支は何回目の組み合わせかを探し出して、天中殺の十二支を出します。丙辰は六回目の組み合わせの中にあります。天中殺の十二支は、子と丑です。

生れた十二支の陰陽と同じ陰陽の天中殺の十二支だけにします。丑は陰です。天中殺の年を同じ陰の丑だけにします。

生まれた年と同じ陰陽の天中殺の十二支を、冬の真ん中、D2に入れます。冬のだ真ん中、D2に丑年を入れます。

美空ひばりさんが、当時映画俳優であった小林旭さんに始めて出会ったのが1961年夏です。この1961年が丑年になっていました。1961年をD2に入れて、美空ひばりさんの12年の運勢周期を作成することにします。

1966年2月4日から	1967年2月4日から	1968年2月5日から
B1	B2	B3
準備期	開花	準備期
	夏	
1965年2月4日から	A3成長	C1結実 1969年2月4日から
1964年2月5日から	A2成長 春	秋 C2結実 1970年2月4日から
1963年2月4日から	A1形成	C3結実 1971年2月4日から
	冬	
準備期	準備期	準備期
D3	D2	D1
1962年2月4日から	1961年2月4日から	1960年2月5日から

### 12年の運勢周期から見た美空ひばりさんの結婚の運勢

美空ひばりさんは、いつもお母さんとともに様々な困難を克服して、芸能界で歌手として成功してきました。しかし、結婚だけは違っていました。

「やっぱりどこかよくないところがあるのよ。もう少し、そのあたりがわかってくるまで、待ってみる気はないの？」との、お母さんの忠告を押し切って、結婚については自分一人で決めてしまいます。

これまで美空ひばりさんはお母さんにすなおに聞き従ってきたのに、結婚だけは強引に自分を主張します。

美空ひばりさんは、25才の誕生日に、1962年5月29日に小林旭さんとの婚約を記者たちに発表します。そして、1962年11月5日に結婚します。

1962年はD3、美空ひばりさんの冬の三年間の後期に入っていました。1963年2月4日のA1春の初期になるまで、冬の3年間が終わるまで、もう1年待つことができさえすれば、美空ひばりさんの結婚の運勢は大きく違ってきたのです。

美空ひばりさんが小林旭さんに初めて会ったのは、1961年夏、日本コロムビアのレコーディングスタジオでした。1961年はD2、美空ひばりさんの冬のと真ん中の年です。

特に冬の三年間に会う人は、貴重なアドバイスをしてくれる友人になれても、夫婦となると長続きしないのです。それでも、その方と時間をかけてじっくり付き合えば、結婚できるようになる場合があります。

ところが、冬の期間は、待てないのです。まだやってはいけないとわかっているけど、がまんできなくて、思い切って強引にやってしまいたくなります。

美空ひばりさんがこの冬の3年間、すぐにでも小林旭さんと結婚したくてたまらない気持ちを何とか抑えて、お母さんの忠告に従っていたら、どうなっていたでしょうか。春の3年間に入ってから、小林旭さんとの結婚について、周囲の人たちが理解してくれるような正しい判断ができたはずですが。

1964年6月27日、春の中期に、美空ひばりさんは一人で、小林旭さんとの離婚を新宿コマ劇場のロビーで、記者たちに発表します。

美空ひばりさんは次の舞台を心配しました。それは、お客さまが離婚のニュースを聞かれてどう思うかを心配したからです。離婚の記者会見の影響で、次の舞台でお客の入りかがたおちになれば、もうおしまいだと思ったからです。

次の舞台がやってきました。そこには美空ひばりさんの悲しい運命をいっしょに悲しんで下さる、たくさんの方がいました。お客さまの拍手と歓呼を全身であびて、美空ひばりさんは、離婚後であっても芸能界で歌手としてやっていける喜びをかみしめるようになります。

しかし、本来は、1964年には、美空ひばりさんの離婚発表ではなく、婚約発表をしなければいけない年でした。

1964年A2は、美空ひばりさんの春の中期は、どんなことでもやり始めるのに最も適した期間になっていました。小林旭さんと結婚ではなくて、別の方との結婚になっていたかもしれませんが、その方との新しい人生を出発できた年でした。それが、離婚後の新しい人生を出発する年になってしまったのです。

四つの運勢周期をつなぎ合わせます。

12年の運勢周期と「九天使占い」の三つの運勢周期をつなぎ合わせます。

松下幸之助さんの仕事の運勢が良くなるのは、1918年3月からです。松下電気の製品を作  
って売れるようにするために、これまでの家の三倍もある家に移転してからです。

1918年3月は松下さんの秋の三年間の初期です。これまでやってきたことを結合させて、  
結実させるための本格的な活動を始めることができる期間です。

さらに、「九天使占い」の1年12ヵ月の受胎日から始まる春夏秋冬の運勢周期をつなぎ合わ  
せると、3月は松下さんの春の期間になっていました。春は、新しい環境を求めるのに適した期  
間です。年だけでなく、月も積極的に事業を本格的に始めるのに良い期間になっていました。

美空ひばりさんは、1962年5月29日に小林旭さんとの婚約を発表します。1962年は  
美空ひばりさんの12年の運勢周期の冬の後期でした。

さらに、「九天使占い」の1年12ヵ月と1ヵ月の中にある受胎日から始まる春夏秋冬の運勢  
周期をつなぎ合わせると、婚約発表した5月29日は、月と日も美空ひばりさんの冬の期間に入  
っていました。年だけでなく、月と日も冬の期間に入っていて、冬が三つも重なっていたので  
す。

12年の運勢周期だけでなく、「九天使占い」の三つの運勢周期も加えて、四つの運勢周期を  
つなぎ合わせると、運勢を確実に良くすることができるようになります。

さらに、「九天使占い」の9年の運勢周期でこれまでの人生で起こった出来事がどのようにつ  
ながっているかわかります。過去、現在、未来をつなげて願望、夢の実現に向けて、四つの運勢  
周期を合わせると、短期、中期、長期の計画を同時に立てることができるようになります。

四つの運勢周期をつなぎ合わせて、9年の運勢周期の「願望実現のモデルコース」を歩んでい  
くと、過去の出来事はあすの希望をもたせるための刺激を与えるようになります。

過去は過去としてただ流れていかないのです。過去は現在とより良い未来のための刺激として  
残るようになります。現在も、単なる現在として終わるのではなく、未来に向かう刺激的な現在  
になってきます。

四つの運勢周期は内向型と外向型に分かれて、三つのペアを成します。

内向型

外向型

12年の春夏秋冬の運勢周期

人生90年

1年12ヵ月の春夏秋冬の運勢周期

9年の運勢周期

1日24時間の春夏秋冬の運勢周期

1ヵ月の中の春夏秋冬の運勢周期

12年の春夏秋冬の運勢周期は1年12ヵ月の春夏秋冬の運勢周期と同じように、内向型の運  
勢周期になっていました。9年の運勢周期と1ヵ月の中の春夏秋冬の運勢周期は、外向型の運  
勢周期になっています。

内向型が外向型を支えていました。外向型は内向型によって、支えられていました。

12年の春夏秋冬の運勢周期が人生90年を支えていました。1年12ヵ月の春夏秋冬の運勢

周期が9年の運勢周期を支えます。そして、1ヵ月の中の春夏秋冬の運勢周期は、1日24時間の春夏秋冬の運勢周期によって、支えられていました。

「九天使占い」は、運勢周期を内向型と外向型に分けて、密接につなげた占いです。内向型と外向型がつなぎ合わされて、一つになろうとするとき、すばらしい力が発揮されます。実際にそのようになるか、試してみてください。

1年12ヵ月の春夏秋冬の運勢周期と9年の運勢周期のペア、そして、1日24時間の春夏秋冬の運勢周期と1ヵ月の中の春夏秋冬の運勢周期のペアについては、下記の「九天使占い」でくわしく説明しています。購入して読んでくださるようお願いします。

<http://p.booklog.jp/book/34338>